

## 梁川町農業協同組合（JA梁川町）



代表理事組合長	高橋 昭一	役員数	28名
所在地	〒960-07 伊達郡梁川町 字町裏29-3	理事	21名（うち常勤 1名）
	☎0245-77-2151	監事	7名
設立年月日	昭和38年9月2日	職員数	134名（男99名 女35名）
		臨時	36名

### I 地区の概況

県中通りの東北端に位置し、東北部は宮城県丸森町、白石市に接し、西部は桑折町、国見町、東南部は保原町、霊山町にそれぞれ隣接し、福島市には17kmの距離にあり、総面積は82.93km<sup>2</sup>である。西南部より阿武隈川が桑折町、国見町に接しつつ町に入り、宮城県に北流している。此の流域は平坦で肥沃な田畑が広がり、また東北部は阿武隈高地の丘陵地帯となって集落と耕地が開けており、町の中央部に市街地が形成されている。

気候は盆地性の気候で高温多湿、冬はやや低温となるが、積雪は少なく福島盆地では最も温暖な地域である。河川に沿った平坦部と山間部では、果樹、桑などの農産物に凍霜害を受けることが多い。

文化、観光では、伊達氏に関する史跡が多い。伊達政宗初陣祈願の八幡神社、梁川城跡、京文化の影響の中世庭園「心字の池」、町民憩いの広場「やながわ希望の森公園」、天神社、子育て地蔵として名高い粟野地蔵尊などがある。

## Ⅱ 50年のあゆみ

### 1 地区農業の変遷

梁川町の耕地面積は2557haのうち畑が1795ha約70%を占め、水田は762ha約30%に過ぎない。  
(平成2年調)

従って古来より畑作を中心とした農業が経営され、特に幕末時代より「蚕都梁川」と称され、養蚕が農業の中心となって営まれてきた。養蚕は昭和50年代まで農業収入の第1位の座を占めていたが、絹織物等の輸入自由化、繭価の下落、

従事農業者の老齢化により年々衰退した。

梁川を代表する作物にあんぽ柿があるが、旧五十沢村において大正12年干柿加工に燻蒸法を用いて成功し、戦後各地に伝わって大きな産業に発展した。また、りんご、桃等においては戦前に一部導入されていたが、産業として発達したのは戦後食料事情が緩和し、主穀農業から適地適作が奨励されるようになってからである。栗野、堰本、富野、大枝等の各地に早くから導入され、各村に果樹研究会を結成して技術改善

に努力してきた。特に農協が合併して果実選果場を施設してから、市場の動向に合わせた栽培管理、技術指導が行われ、品種改善に拍車がかかった。その後、ぶどう(巨峰・高尾)、プラムの栽培が熱心に行われて、現在は多品目による果樹栽培がなされるようになった。

そさい類については栗野を中心とした馬鈴薯がある程度であったが、30年代桑園間作にほうれん草が栽培されてより「栗野のほうれん草」として北海道の各市場を席卷した。富野の露地栽培に始まるきゅうり、堰本の水田

図表1 地区農業の変遷(農業センサスより)

項目		年次					
		25	35	40	50	60	2
総農家戸数(戸)		2,999	2,924	2,873	2,680	2,534	2,397
うち 専業(戸)		2,117	1,376	647	443	397	352
I種兼業(戸)		646	1,055	1,326	1,216	734	509
II種兼業(戸)		236	493	900	1,021	1,403	1,536
経営耕地面積(ha)		2,605	2,551	2,449	2,295	2,109	1,929
うち 田(ha)		921	902	896	811	752	714
畑(ha)		924	852	667	467	409	447
樹園地(ha)		760	797	886	1,017	948	768
収 穫 面 積	稲(ha)	892	887	880	730	674	552
	麦類(ha)	681	675	300	1		1
	豆・いも・雑穀(ha)	254	625	12	216	95	75
	野菜類(ha)	197	312	212	157	209	216
	果実類(ha)	55	163	264	368	402	372
	飼料作物類(ha)	66	76	1	12	14	14
	たばこ(ha)			14		2	
	桑(ha)	704	632	618	647	545	387
	ハウス(ha)				25	29	30
	その他(ha)		142	31	8	27	1
しいたけほだ木(ha)					494	212	184
飼 育 頭 羽 数	乳用牛(頭)	106	277	290	173	123	99
	肉用牛(頭)	770	718	427	300	414	75
	豚(頭)	379	486	901	3,756	1,382	2,720
	にわとり(千羽)	10	28	65	41	62	72
	ブロイラー(千羽)				654	1,993	1,073

(注)ブロイラー 50年以降は出荷羽数

裏作として栽培され各地に伝播したえんどう類（さや・ピース）等が農協合併を契機として栽培指導に合わせて生産数量を拡大していった。その他パイプハウス、鉄骨ビニールハウスの出現によりトマト、にら、いちごの栽培が普及し、菌茸類の栽培など十指に余る品目が生産されて、生産額は大きく拡大されている。

畜産は20年代有畜農家創設事業により和牛、緬羊、豚などの導入が行われ、また一部に酪農を経営する者があった。30年代後半県の集落養鶏の指定を受け、堰本、富野などで盛んに行われた。しかし畜産事業として発展したのは農協が合併して肉豚、和牛の預託貸付を行い、ブロイラーの取扱を開始して以来である。その他伊達物産株式会社によるブロイラー生産は40年初め頃より開始して一部の生産者により熱心に飼育されている。採卵養鶏は数人の大型養鶏家により専門経営がなされ、副業による養鶏はほとんどその姿を消した。

## 2 経営の推移

昭和38年合併当初は総会制を採用してきたが、農協法の改正もあり組合員の意思反映を的確なものとするため、57年より総代会制に改めた。また役員選出は総会の議決による選任制とし、役員定数については、当初理事23名監事8名として、不文律により各地区より理事3名（大枝は2名）監事1名として選任してきたが、組合員数の多い地区より異論が出で、55年8月各組織からなる「役員定数調査特別委員会」を設置して検討の結果、理事21名監事7名とし、56年の総会に承認を受けて翌57年4月の役員改選から適用された。

損益計算の上では合併7組合のうち4組合は剰余金持寄りで引継ぎをしたが、当該組合員に対し出資金無償交付の形で配分したため、引継ぎ欠損金545万5000円が生じ、町の農協育成助成金600万円を充当することにした。しかし助成金は5か年分割であったことと、その後の大枝農協・梁川養蚕農協の持寄り欠損金もあって、繰越欠損金の解消は41年度の決算までつづいた。

自己資本の安定比率の面では、合併後の急速な生産施設拡充のため、固定資産と自己資本のアンバランスが生じ、毎年増資の必要に迫られた。このため44年定款を変更して、剰余金処分の方法を利用配当優先から出資配当優先に切替え、出資金優遇の途を講じながら資本金の充実につとめた。さらに51年頃より特別積立金・準備金の法定以上の積立てをするなど自己資本の充実につとめている。

## 3 農業協同組合の設立と合併の経過

### (1) 設立

J Aやながわの前身は梁川農業協同組合、栗野農業協同組合、堰本農業協同組合、白根農業協同組合、山舟生農業協同組合、富野農業協同組合、五十沢農業協同組合、および大枝農業協同組合であり、うち梁川農協を除き昭和23年にそれぞれの村の農業会の財産を受継いで誕生した。梁川農協は、町農業会の財産を受継ぎ23年に設立された旧梁川町農業協同組合と梁川町第一農業協同組合が28年に当時の町長の斡旋により合併して設立されたものである。

### (2) 大枝農協の再建整備

大枝農協は、昭和23年設立以来健全な経営が

なされてきたが、29年町村合併による分村の騒ぎ以来組合員の間で感情的な対立が生じ、組合利用と協力度が低下し、固定化債権が増加して31年度に欠損金を出して以来赤字の決算がつづいた。33年理事会は農協整備特別措置法の適用を受けることを決議し、中央会より特別指導員の派遣を受け、翌34年10月臨時総会を開催して再建整備の承認を受けた。

その後整備計画は役職員のためまない努力と組合員の大きな協力、農青連・婦人部の目ざましい活躍により予定の38年には完全に達成された。

### (3) 合併に至るまでの組合間協同活動

昭和28年梁川方部の各農協と果樹研究会が主体となって「梁川地区果実出荷協議会」を結成し、事務所を栗野農協に置き、果実・馬鈴薯の共同出荷を開始した。この協議会は経済連が果樹部を設置した33年まで継続した。

また31年には全購連の肥料全利用共同計算の集中指導ブロックの指定を受けて「梁川地区肥料共同計算推進協議会」を結成し足並みを揃えて肥料の共同計算に参加し農協肥料取扱の強化にむかって推進をはかった。

35年9月には経済連の呼びかけにより梁川管

図表2 主な勘定と事業の推移

(単位：千円、共済：百万円)

項目		年度						
		24	30	38 (合併時)	40	50	60	5
正組合員戸数(戸)		3,690	2,968	2,551	2,761	2,717	2,658	2,600
准組合員戸数(戸)		182	162	216	488	797	831	1,086
資 産	余 裕 金	24,710	33,728	243,288	333,582	1,248,036	5,936,909	12,928,228
	貸 出 金	6,670	57,953	168,345	405,952	2,286,181	4,359,266	5,563,151
	その他流動資産	6,920	38,782	106,430	137,865	657,742	1,200,092	1,556,309
	固 定 資 産	4,172	9,681	34,967	58,586	440,814	697,718	1,003,901
	外 部 出 資	447	7,565	11,086	16,324	71,946	170,036	247,630
負 債 及 び 資 本	貯 金	41,373	94,375	420,567	667,392	3,551,407	10,000,331	18,017,845
	借 入 金	715	29,854	64,512	138,097	112,840	273,000	68,895
	そ の 他 負 債		6,191	46,471	89,616	709,619	1,315,736	2,009,054
	出 資 金	3,309	17,126	37,184	58,182	272,853	552,350	794,755
	積 立 金	100	365			41,006	169,006	368,006
	剰 余 金	32	-202	-4,618	-978	16,994	53,598	40,664
主 な 事 業 実 績	販 売 取 扱 高	89,771	136,117	379,700	913,466	3,789,269	4,713,853	4,286,244
	うち 穀 類		92,125	106,453	176,092	476,243	543,790	159,035
	果 実			139,533	246,377	942,231	1,619,987	1,726,471
	そ さ い			94,906	122,872	768,920	1,204,933	1,690,584
	畜 産 物			29,443	47,367	579,863	430,772	370,699
	ま ゆ				311,059	958,733	796,938	208,421
	購 買 取 扱 高	31,457	103,366	270,548	339,927	1,637,523	2,164,437	2,847,942
	うち 生産資材		71,476	237,175	300,125	1,354,978	1,580,873	1,968,273
	生活資材		31,890	33,373	39,802	282,545	583,564	879,669
長期共済保有高			735	1,198	19,114	118,500	196,574	

(注) 合併時は最新合併時の始期ただし主な事業実績は年度末 他は年度末  
合併以前の年度は合併参加農協の合計

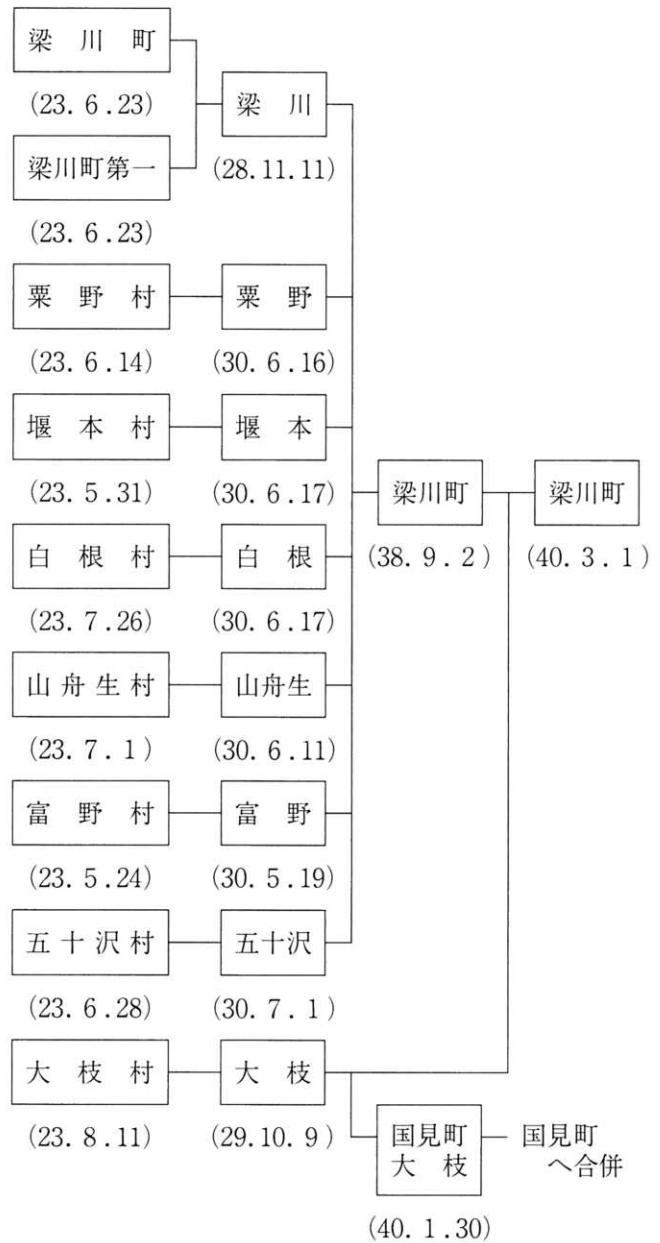
内8農協が共同出資をして「梁川地区農協農機具サービス協会」を設立し、農機具共同修理工場を開設して、農機具取扱の強化とアフターサービスの充実につとめた。後の自動車農機具サービスセンターの基礎となった。

さらに36年4月新農村建設事業の梁川北部地区事業として梁川農事放送農業協同組合連合会が、富野、白根、山舟生各農協の出資により設立し、有線放送事業の共同設置を行った。翌37年五十沢農協も参加、さきに設置されていた栗野、堰本の各農協とあわせての放送網ができあがり、情報の伝達、営農、生活の向上に寄与することになった。

(4) 梁川町農業協同組合の設立

梁川町農業協同組合は昭和38年9月梁川農協ほか6組合が合併して発足、さらに40年3月大枝農協を町の境界に沿って分割により吸収合併した。また、39年9月管内にあった北達養鶏農協を合併し、翌40年6月には町内11の養蚕農協を吸収合併して、養蚕部会を設置した。

図表3 合併等の経緯



図表4 合併参加農協の概要

合併年月日	組合名	組合長名	組合員数	役員数	職員数
28.11.11	梁川町	勝山 勝治	345	14	2
	梁川町第一	菅野 英助	190	12	4
38.9.2	梁川	菅野 英助	738	11	2
	栗野	須田 貞一	563	16	18
	堰本	大橋 良信	594	16	20
	白根	霜山 七三郎	361	10	7
	山舟生	齋藤 茂	435	15	8
	富野	日下 長一	401	12	13
	五十沢	岡崎 義雄	343	14	12
40.3.1	梁川町	菅野 英助	2,850	94	98
	大枝	鈴木 幸吉	181	7	7



## 4 生産強化活動

### — 組織の整備と施設の充実 —

39年度県の生産組織育成強化モデル組合の指定を受け、生産組織および協力組織の整備統合と育成強化に向かって乗り出した。

協力組織では農事組合の名称を統一して、本所に連絡協議会、支所ごとに分会を設置して側面的協力組織としての位置づけを行った。また営農推進委員会を設置して、農業の改良と営農の改善を担当する組織とした。農青連については、39年6月に梁川町農協青年連盟として360名をもって発足したが、51年に農協青年部として再発足した。婦人部は39年6月設立総会を開催して発足、翌年大枝支部、梁川支部を結成し、会員2000名を擁し農協活動を支えた。

生産組織では、作物ごとに果樹、そ菜、あんぼ柿、特用作物、畜産、養蚕の各委員会を設け各主要作物ごとに専門部会を設置して整備強化をはかり、農業改良普及所、町役場と連携して栽培の研究と技術指導の徹底に努力した。

合併農協が一番力を注いだのが農業生産力の増強にあった。農業構造改善事業およびその他の各種補助事業によって、昭和43年の広域共同選果場の建設をはじめ、各支所に集荷所を建設、果実冷蔵庫および稚蚕共同飼育所を4か所5棟を建設するなど施設面の充実をはかった。一方合併翌年より開始した白根・山舟生の果樹団地造成事業、栗野・梁川・五十沢地区に農道を開設するなどの生産面の増強につとめた。またトラクター・スピードスプレーヤー等大型機械の導入および大関、富野、白根、東大枝の各地区にライスセンターの建設をすすめて、農作業の共同化と労力の軽減をして他の農作物の生産拡大に大きな効果をもたらした。

その後共同選果場を核として、52年に野菜集荷所を建設し58年に第2野菜集荷所を増設して野菜類の共同選果・共同販売を推進した。60年には地域農業の総合管理を目的とした農業団地センターの建設を行い、果実・野菜の一元共同選果・販売の体制ができあがった。

畜産事業では40年に肉豚預託事業を開始し、長期平均払制を打ち出した。また稲作転換対策として45年より肥育牛預託制度を開始し、翌46年にはブロイラーの飼育事業に着手した。

これら各畜種の取扱と内容の充実により、47年3月畜産課を設置して専任職員を増員した結果、49年には畜産販売額で5億円を突破し、飼料の供給高も3億9115万円と大きく飛躍した。

以上の生産組織の整備と生産施設の充実、営農指導体制の確立により、かつては養蚕と主穀が中心だった地域内農業は、果実、そさい、畜産、養蚕のバランスの取れた多角的営農形態に変わり、50年には優良農業団体として県知事賞を受賞、53年には販売取扱高が50億円を突破した。しかしその後の生糸、絹織物の輸入自由化により繭価が暴落して養蚕事業が過去の約6分の1に後退し、反面そさい・果実類の伸張に著しいものがあり現在に至っている。

## 5 生産生活に直結した購買事業

昭和35年管内8農協の共同により農機具修理サービス工場を開設したが、合併後の農協では農業機械の大型化が日を追って進み、さらに自動車の急激な普及により、一層の高度な修理サービスの提供を求められるようになり、49年自動車・農機具修理工場を建設完成した。54年には農機具修理工場を分離建設し、同年9月念願の自動車民間車検場の指定を受けた。

自動車・農機具の普及と相まって要求されたのが給油所の建設であった。50年9月自動車農機具修理工場の一面に中央給油所を建設、57年拡張整備を行い、63年には国道349号線の沿線に南給油所を建設して周辺支所の小さな給油所は廃止した。また合併以来ネックとなっていた購買倉庫の集約と一元配送は59年共同選果場の隣接地に新たに購買倉庫を建設、平成2年さらに増築して、62年より一元配送を開始した。

生活事業では婦人部の力強い協力にとり、新生活運動の推進、組合員の健康管理・生活の合理化を主眼とした生活購買をすすめ、総合結婚式場、総合葬祭事業に取り組み、生活教室の開講は5年で第27回と回を重ねている。

そのた生鮮食品の共同購入（くらしの宅配）旅行センターの開設などにより組合員に密着した活動を行っており、5年度の購買品供給高は28億4794万円に及んでいる。

## 6 農協の財務を支える金融共済事業

合併直後の昭和38年9月金融推進委員会を設置し、その協力を得ながら合併記念特別貯蓄運動を実施した。この運動は特に農協意識の低かった旧梁川地区を中心に合併意識の高揚を図ったもので、翌39年2月末の貯蓄実績は4億2000万円となり県下第2位の成績をおさめた。

また40年には丸森線用地買収があり、地権者協議会と提携して鉄建公団との交渉にあたり、その買収代金の殆どを農協において獲得した。その後、52年には50億円の大台を突破し、信連優秀賞・農林中金福島支店長賞を受賞、57年12月年末特別貯蓄運動において初めて100億円の大台を突破した。60年度には年度末で100億円を越し、翌61年5月には信連優秀賞を受賞した。

57年には系統オンラインが始動したためいち早く参加して事務の合理化をはかり、また金融自由化に対処して、59年生協梁川店に、62年に梁川支所にATMを設置し、つづいて平成3年には南給油所にCDを設置して組合員の貯金預入れ・払出しに利便を図るとともに事務の迅速化を図った。

54年には年金友の会を設立、58年からは「シルバー大学」を開講して年金受給者の集いの場とし、ゲートボールや芋煮会、支部ごとの温泉旅行、年1回の年金友の会の集いなど多彩な催しにより老後を楽しんでいる。

農協の財務をもう一方で支えてきたのが共済事業である。合併当初各農協が持ち寄った共済契約保有高は5億4199万円（満期）であったが、その後、新種共済の開始や仕組み改定による保償倍率の引き上げ、短期共済の充実によって共済事業は大きな広がりを見せ、5年の長期共済の保有高は1965億円に達し、60年全共連より優績農協賞を受賞した。

共済事業で特に大きな効果を発揮したのが、53年の宮城沖地震で部分損害42戸に対し404万円の支払いを行い、また61年の8・5水害の際は当町に大きな被害をもたらしたため202戸に対し4億2600万円の共済金支払いがなされて農協共済の優位性が話題となり感謝された。

短期共済では49年11月交通事故相談所を開設して以来被害者・加害者に親身の相談相手となっている。5年における短期共済金支払いは528件1億7095万円となっている。

共済友の会は59年6月保障額1億円以上満期額2000万円以上または年金共済100万円以上のいずれかの基準に達した者をもって構成され、現在会員数は529名となって健康増進活動や共済推進の協力など積極的な活動を行っている。

## Ⅲ 年 表

年月日	主 な 事 績	年月日	主 な 事 績
<b>23年</b>		<b>31年</b>	
5.24	富野村農業協同組合発足	3.31	細谷に農業倉庫建設完成（堰本）
5.31	堰本村農業協同組合発足	11.13	梁川町肥料共同計算推進協議会結成
6.14	粟野村農業協同組合発足	11.17	ほうれん草北海道出荷開始（粟野）
6.23	梁川町農業協同組合発足	12.	乳牛導入、富野集乳所へ出荷（白根）
6.23	梁川町第一農業協同組合発足	<b>32年</b>	
6.28	五十沢村農業協同組合発足	1.14	梁川肥料共計推進協 推進大会開催
7. 1	山舟生村農業協同組合発足	5.16	再建強化組合員大会（大枝）
7.26	白根村農業協同組合発足	11.20	共同集荷所完成・農協10周年記念大会（堰本）
8.11	大枝村農業協同組合発足	<b>33年</b>	
<b>24年</b>		9.26	台風22号の大被害（山舟生）
3.10	作業場建設（大枝）	10. 1	体あたり貯蓄運動展開（五十沢）
11.17	出資金倍増組合員大会（富野）	12.31	体あたり貯蓄運動締切（堰本）
<b>25年</b>		12.31	整備特別措置の指定を受ける（大枝）
7.28	事務所新築落成（粟野）	<b>34年</b>	
6.	青果市場開設（粟野）	1. 5	ほうれん草出荷100車突破祝賀会（粟野）
7. 1	購買店舗設置（山舟生）	1.31	有線放送開始（粟野）
9.	農業振興計画樹立、開田土地改良事業実施（粟野）	3.10	野菜集荷所焼失（粟野）
11.23	家庭常備薬全戸配付（富野）	8.27	梁川町農協組織整備促進協議会結成
<b>27年</b>		10. 5	野菜集荷所再建（粟野）
5.21	信連会長賞受（白根・大枝）	<b>35年</b>	
6. 9	みそ・しょうゆの共同醸造開始（富野）	3.31	集荷所完成（白根）
<b>28年</b>		6. 1	購買現金決済制度開始（五十沢）
5. 5	堰本村畜産農協吸収・畜産部設置（堰本）	8.17	共同集荷所完成（富野）
7.25	事務所店舗改造（富野）	9. 7	梁川地区農協共同農機具修理工場開設
11.11	梁川町農協と梁川町第一農協合併し梁川農業協同組合発足	<b>36年</b>	
<b>29年</b>		4.16	農業倉庫完成（山舟生）
6.21	信連会長賞・郡優勝旗受賞（白根）	6.17	梁川農事放送農協連発足（富野・白根・山舟生）
7.	東大枝地区梁川町に分村合併	8. 5	有線放送開始（堰本）
10. 9	大枝農業協同組合と名称変更	<b>37年</b>	
<b>30年</b>		3. 1	梁川農事放送農協連通話開始
2.	家の光愛読者大会（富野）	3. 2	馬鈴薯共販競技会で優勝 各連合会長賞受賞 馬鈴薯共選機導入（粟野）
3. 1	町村合併により新「梁川町」誕生	6. 1	放牧場完成 放牧開始（富野）
5.19	富野農業協同組合と名称変更	11. 8	梁川町農協合併推進協議会結成
5.	共済事業開始	—	にら生産者7名で組合結成（粟野）
6.11	山舟生農業協同組合と名称変更	<b>38年</b>	
6.16	粟野農業協同組合と名称変更	5.30	農林中金福島支店長賞受賞（五十沢）
6.17	堰本農業協同組合と名称変更	5.31	経済連系統利用優秀賞受賞（堰本）
6.17	白根農業協同組合と名称変更	6. 6	全共連会長賞受賞（粟野・五十沢・大枝）
7. 1	五十沢農業協同組合と名称変更	7.27	臨時総会開催合併決議
10.18	野菜集荷所増設工事完成（粟野）	9. 2	梁川町農業協同組合発足
		11.23	合併記念展開催



年月日	主 な 事 績	年月日	主 な 事 績
<b>39年</b>		8.31	富野稚蚕飼育所第2期工事完成
5. 1	肉豚預託制度開始	10.31	堰本細谷倉庫建設完成
5. 8	有線放送自動中継装置設置	11.29	大枝野菜集荷所完成
6.12	全共連会長賞受賞	11.30	白根野菜集荷所完成
6.29	白根桃団地造成事業開始	<b>45年</b>	
9.24	北達養鶏農協を吸収合併	2. 6	米生産調整転作々物検討会
12.23	生産組織育成強化推進協議会開催	2.20	経済連園芸100億円突破大会知事賞受賞
12.25	国見町西大枝地区組合員国見町大枝農協を設立（大枝）	3.12	五十沢高度集団栽培組合知事賞受賞
<b>40年</b>		3.30	中峯農道第1期工事完成
3. 1	大枝農協吸収合併	5. 1	肥育牛預託事業開始
5. 1	新田、大関、五十沢各共選所組合誕生	11.30	粟野野菜集荷所完成
5.27	全購連会長より農薬共計運動10周年記念感謝状受領	<b>46年</b>	
5.27	経済連系統利用優秀賞受賞	3.31	中峯農道第2期工事完成
6. 3	養蚕農協11組合合併	8.31	富野種豚場完成
7. 5	富野稚蚕共同飼育所完成	9. 1	電算事務採用
8.31	梁川・大枝地区有線放送通話開始	11.10	有線放送自動化工事・本部建設工事完成
<b>41年</b>		11.30	青果物冷蔵庫完成
5. 4	営農振興5ヵ年計画樹立	<b>47年</b>	
5.30	経済連系統利用優秀賞受賞	3.24	五十沢あんぼ柿50周年記念碑除幕式
5.31	農林中金福島支店長賞受賞	4.22	第1回通常総代会
8.11	五十沢集荷所工事完成	5.16	有線放送公社線接続開始
11. 5	農業構造改善事業実施認定（町）	5.26	本所事務所建設起工
12.22	産米3万俵売渡推進大会	5.26	経済連系統利用優秀賞受賞
<b>42年</b>		12.20	本所事務所建設完成
1.28	粟野農道工事着工	<b>48年</b>	
1.30	有線放送本部統合	2.17	本所事務所落成・合併10周年記念式典
3.31	五十沢稚蚕共同飼育所完成	3.20	堰本稚蚕共同飼育所完成
8.15	富野野菜集荷所完成	10. 6	大関ライスセンター・農機具格納庫完成
11. 6	にら組合知事賞受賞（県農業生産力増強推進大会）	12.18	石油危機に伴う生産部会代表者会議
11.19	農協法公布20周年県大会優良農協賞受賞	<b>49年</b>	
11.22	東北農政局長賞受賞	2. 7	畜産危機突破生産者大会
<b>43年</b>		2.15	農協貯金10兆円達成大会 農林中金および全信連会長賞受賞
2.27	横浜市長の感謝状受領（野菜出荷）	3.29	梁川集荷所完成
3.31	粟野稚蚕共同飼育所完成	5.30	堰本農業構造改善センター完成
	粟野農道工事完成工	6.14	タイ・インドネシア日本農協視察団来組
5.29	農林中金福島支店長賞受賞	7.20	農機具自動車修理工場完成
7.30	堰本野菜集荷所完成	10.29	堰本支所事務所完成
11.30	山舟生野菜集荷所完成	<b>50年</b>	
12.31	広域共同選果所完成	5. 3	優良農業団体により知事賞受賞
<b>44年</b>		5.29	経済連系統利用優秀賞受賞
4.17	果樹開やく施設工事完成	11.12	第1回おはよう市場開設
4.27	経済連系統利用優秀賞受賞	12.19	梁川中央給油所完成
		<b>51年</b>	
		7.29	フィリッピン農業指導者現地研修来組

年月日	主 な 事 績	年月日	主 な 事 績
<b>52年</b>		<b>61年</b>	
1. 5	農業後継者結婚相談委員会発足	2. 18	農業団地センター完成
2. 20	山舟生支所事務所完成	5. 22	全共連の優績組合賞受賞
7. 15	広域共同選果所に選果自動処理装置導入	5. 27	経済連系統利用優秀賞受賞
8. 30	富野ライスセンター完成	8. 5	大雨の被害 本所、梁川支所、五十沢支所に浸水 災害対策委員会設置
<b>53年</b>		<b>62年</b>	
2. 25	野菜集荷所完成(広域共同選果場敷地内)	1. 12	購買事業オンラインスタート
4. 24	合併15周年記念式典	2. 20	梁川支所A T Mオープン
5. 26	農林中金福島支店長賞受賞	5. 19	農林中金福島支店長賞受賞
10. 24	合併15周年記念第1回農業祭実施	5. 21	全共連の優績組合賞受賞
11. 29	五十沢支所事務所完成	7. 1	富野支所事務所完成
12. 19	韓国農協中央会視察来組	9. 22	生鮮食品くらしの宅配スタート
<b>54年</b>		12. 5	農業後継者結婚相談所開設
6. 22	販売50億円達成。共選場10周年記念大会	<b>63年</b>	
7. 12	年金友の会発足	5. 19	全共連の優績組合賞受賞
9. 3	自動車指定整備工場(民間車検場)指定	<b>元年</b>	
<b>55年</b>		3. 30	いきいきランド南給油所オープン
8. 22	役員定数調査特別委員会開催	7. 29	農協会館愛称発表セレモニー NKホールラブルに決定
9. 8	異常気象特別委員会設置 被害額6億2234万円	12. 13	キャッシュサービスコーナー南給油所に設置
<b>56年</b>		<b>2年</b>	
3. 31	白根支所事務所完成	4. 12	梁川地域情報センターオープン(有放)
4. 12	ファミリー農園開園	6. 27	催事事業協力会設立総会
5. 25	経済連系統利用優秀賞受賞	9. 30	第1回牛肉フェスティバル開催
<b>57年</b>		12. 11	梁川ワイン発表会
6. 14	オンライン業務開始	<b>3年</b>	
10. 13	マレーシア・インドネシア視察団来組	5. 27	経済連系統利用優秀賞受賞
12. 21	中央給油所拡張工事完成	6. 29	第1回ふれあい電化ショー
12. 31	年末特別貯蓄運動100億円突破	7. 15	果実糖度別重量選別装置ミスピーチ完成
<b>58年</b>		9. 2	旅行センターオープン
9. 8	第1回シルバー大学開講	<b>4年</b>	
11. 5	合併20周年式典	1. 31	野菜真空冷却装置完成
12. 15	野菜集荷所完成	3. 14	J Aやながわ宣言大会、農協よりJ Aと愛称変わる
<b>59年</b>		3. 18	資材倉庫完成オープン式
4. 17	中央購買倉庫完成	6. 25	伊達地方J A合併研究会設立総会
5. 19	ちびっこ農業学校入校式(五十沢地区)	11. 30	あんぼ柿個包装機施設完成
6. 6	共済友の会設立総会	<b>5年</b>	
12. 29	生協梁川店にキャッシュサービスオープン	1. 20	いちご梱包ライン完成
<b>60年</b>		5. 20	粟野支所新築完成式
5. 23	全共連の優績組合賞受賞	9. 4	合併30周年記念式典
9. 6	大枝支所事務所完成	10. 7	婦人部30周年記念式典

## IV 資 料

(平成5年度末現在)

### 1 組合員

( )は戸数

正組合員		准組合員		合 計	
個人	法人	個人	団体	個人	法・団
2,989		1,489	39	4,439	39
(2,600)		(1,125)		(3,725)	

### 2 役員及び参事

代表理事組合長	理事 佐藤 満
高橋 昭一	理事 齋藤 庄市
第一理事	理事 霜山 守
佐藤 五代	理事 菅野 富雄
第二理事	理事 萩原 嘉昭
長谷川 弥重	理事 大橋 信夫
理事 渡邊 芳郎	代表監事
理事 八巻 政衛	菅野 善一郎
理事 澁谷 喜三郎	代表監事代理
理事 紺野 昭平	監事 岡崎 勇蔵
理事 酒井 正光	監事 齋藤 和男
理事 齋藤 實	監事 三浦 郁夫
理事 秋葉 佐	監事 穴戸 繁一
理事 佐々木 正太郎	監事 八巻 忠男
理事 佐藤 庄治	監事 遠藤 政重
理事 渡邊 耕一	参事 後藤 保重
理事 佐藤 福二	
理事 阿部善右衛門	

### 3 職 員

男	女	計	うち営農 指導員	うち生活 指導員
99	35	134	13	1

### 4 協力組織

名 称	代 表 者	会 員 数
農事組合連絡協議会	幕田 宗孝	116
営農推進委員会	穴戸 健志	128
金融推進委員会	井上 五郎	120
自動車農機具 補導員会	池田 和夫	45
年金友の会	霜山 喜代三	2,824
共済友の会	八巻 一	598
青年部	穴戸 幹男	19
婦人部	八巻 英子	1,763
若妻部会		154

### 5 生産部会

名 称	代 表 者	会 員 数
果樹委員会	桃井 純一	1,115
あんぱ柿委員会	飯沼 昭久	980
そさい委員会	渡邊 綱男	970
畜産委員会	齋藤 倉次郎	86
養蚕委員会	齋藤 實	256

### 6 主な施設

名 称	所 在 地
本所・梁川支所	字町裏29-3
粟野支所	大字粟野字沼頭3-1
堰本 〃	大字大関字笠石22
白根 〃	大字白根字馬場83-1
山舟生 〃	大字山舟生字高倉8-1
富野 〃	大字舟生字前8-1
五十沢 〃	大字五十沢字宮下22
大枝 〃	大字東大枝字町頭1-2
有線放送施設	字町裏29-3
農業団地センター	字西土橋1-3
果実共同選果場	〃
野菜集荷所	〃
富野稚蚕共同飼育所	大字舟生字前58
堰本 〃 〃	大字大関字石丸6-2
ライスセンター	大字八幡字南1
米倉庫	大字粟野字栗木内6
自動車農機具修理工場	字東塩野川82
購買倉庫	大字粟野字前16-1
石油タンク貯蔵庫	字東塩野川82
給油所(中央)	〃
〃(みなみ)	字西土橋1-11
プロパンガス倉庫	字東塩野川82

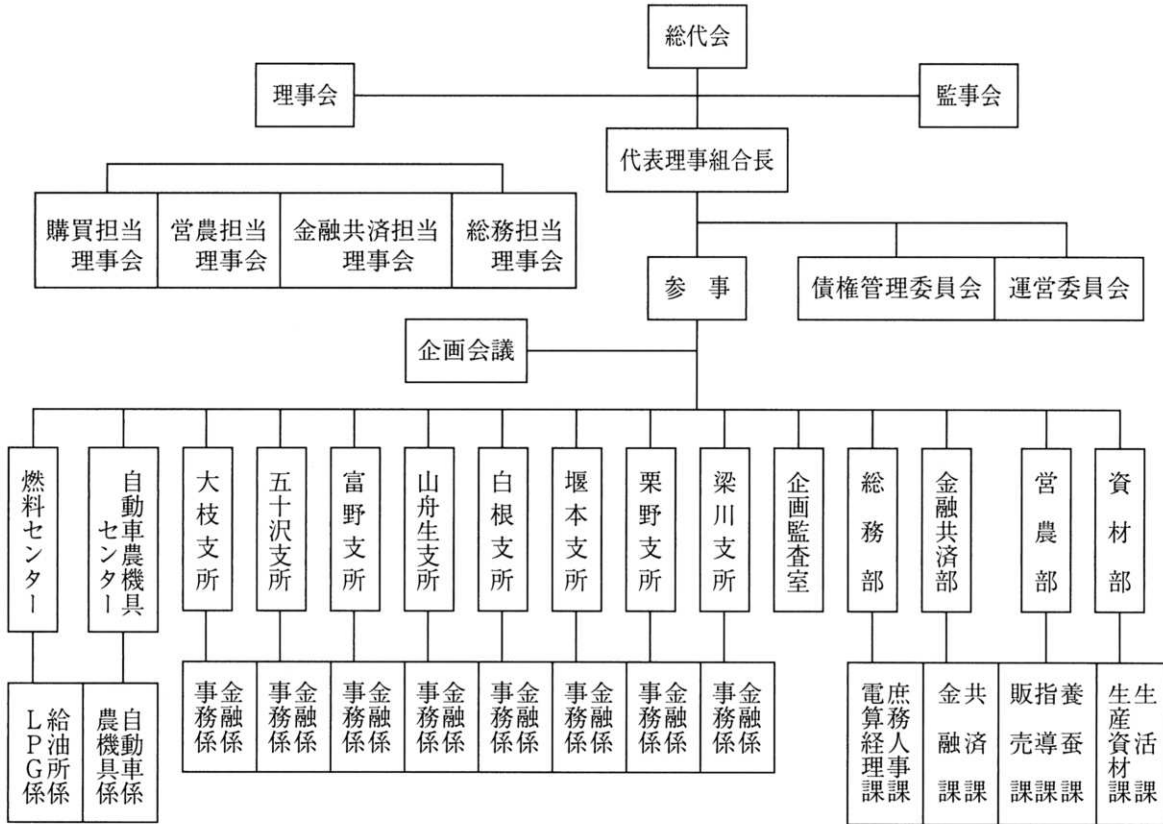
### 7 歴代組合長・常勤理事・参事

組 合 長			
38~39	日下 長一	55~60	佐々木政雄
39~55	菅野 英助	60~	高橋 昭一

専 務 理 事		常 務 理 事	
38~39	氏家 正直	45~51	大友 哲二
		54~55	菅野七太郎

参		事	
38~45	大友 哲二	58~2	鈴木 順子
45~50	池田 英夫	2~	後藤 保重
50~58	佐藤 節三		

8 経営管理機構



9 合併前の歴代組合長

梁川町農協

23~26	勝山 勝治	28~28	勝山 勝治
26~28	宍戸 喜七		

梁川町第一農協

23~28	菅野 英助
-------	-------

梁川農協

28~35	菅野 理助	35~38	菅野 英助
-------	-------	-------	-------

栗野農協

23~38	池田 儀三	38~38	須田 貞一
-------	-------	-------	-------

堰本農協

23~24	佐藤清四郎	24~38	大橋 良信
-------	-------	-------	-------

白根農協

28~29	齋藤 仁平	29~38	霜山七三郎
-------	-------	-------	-------

山舟生農協

23~26	八巻 広司	26~38	齋藤 茂
-------	-------	-------	------

富野農協

23~38	日下 長一
-------	-------

五十沢農協

23~35	岡崎 寅助	35~38	岡崎 義雄
-------	-------	-------	-------

大枝農協

23~32	小林 正夫	34~40	鈴木 幸吉
32~34	佐々木政雄		